

・下記でを使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

日本の株式市場

市場の動向

日本株式市場の代表的な指数である東証株価指数(TOPIX)は、2日比で4.35%下落しました。
 4月の米非農業部門雇用者数が市場予想を下回るなど、世界経済の見通しが不透明になったことなどが下落要因となりました。加えて、フランス大統領選およびギリシャ総選挙で、緊縮財政路線に反対する勢力が勝利し、欧州債務不安が再燃するとの懸念が投資家心理を冷やしました。

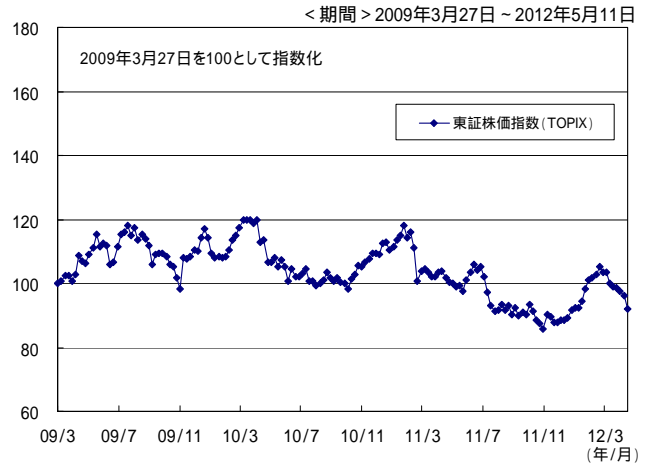
今後発表予定の主な経済指標など

- 16日発表 機械受注統計(3月)
- 17日発表 GDP(国内総生産、1-3月期、1次速報値)

など

騰落率がプラスの場合: 😊
 騰落率がマイナスの場合: 😞
 騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場環境
-4.35%	⚡



東証株価指数(TOPIX)	2012/5/2	2012/5/11	騰落率
	792.87	758.38	-4.35%

<出所> ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

東証株価指数(TOPIX)の指数値及びTOPIXの商標は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます。)の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利及びTOPIXの商標に関するすべての権利は東証が有します。

世界の株式市場

市場の動向

海外株式市場全体の動きを表す代表的な指数であるMSCI-KOKUSAI指数は、4日比円ベースで、1.36%下落しました。
 米国株式市場(現地通貨ベース)は、欧州債務危機の再燃や、中国の冴えない経済指標に加え、一部の大手企業が業績下方修正を発表したことを受け、下落しました。
 欧州株式市場(現地通貨ベース)は、ギリシャ総選挙後の連立政権樹立協議が難航し、同国のユーロ離脱観測が再燃したことや、スペイン金融機関の不良債権問題への懸念、中国の景気減速懸念が強まったことを受けて、下落しました。
 アジア(日本を除く)オセアニア株式市場(現地通貨ベース)は、外部環境の悪化に加え、4月の中国の輸出入および小売売上高が市場予想を下回ったことなどから下落しました。

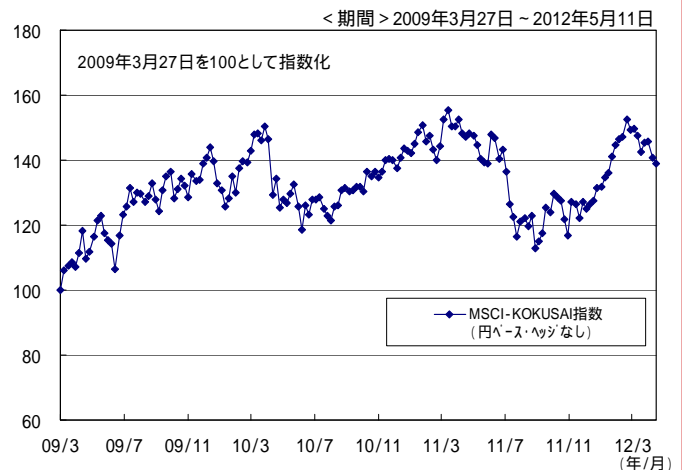
今後発表予定の主な経済指標など

- 15日発表 ユーロ圏GDP(1-3月期)
- 15日発表 米CPI(消費者物価指数、4月)
- 15日発表 米小売売上高(4月)
- 16日発表 米鉱工業生産(4月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊
 騰落率がマイナスの場合: 😞
 騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場環境
-1.36%	⚡



MSCI-KOKUSAI指数 (円ベース・ヘッジなし)	2012/5/4	2012/5/11	騰落率
	1,143.49	1,127.88	-1.36%
円/ドル	79.88円	79.88円	0.00%
円/ユーロ	104.75円	103.40円	-1.29%

<指数出所> FactSetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

<為替出所> 当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

MSCI-KOKUSAI指数は、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

日本の債券市場

市場の動向

日本の債券市場動向を表す代表的な指標であるNOMURA-BPI総合は、2日比で0.23%上昇しました。
 日本債券市場は、4月の米非農業部門雇用者数が市場予想を下回り、国内景気の先行きにも慎重な見方が広がったことなどから、上昇して始まりました。その後も、総選挙後のギリシャで政権樹立協議が難航したことや、スペインの金融機関の不良債権問題を背景に欧州の信用不安が一段と強まったことなどから、上昇幅を拡大しました。
 長期金利の指標となる10年国債利回りは、2日比で低下(価格は上昇)し、0.85%となりました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 14日発表 国内企業物価指数(4月)
- 17日発表 GDP(1-3月期、1次速報値) など

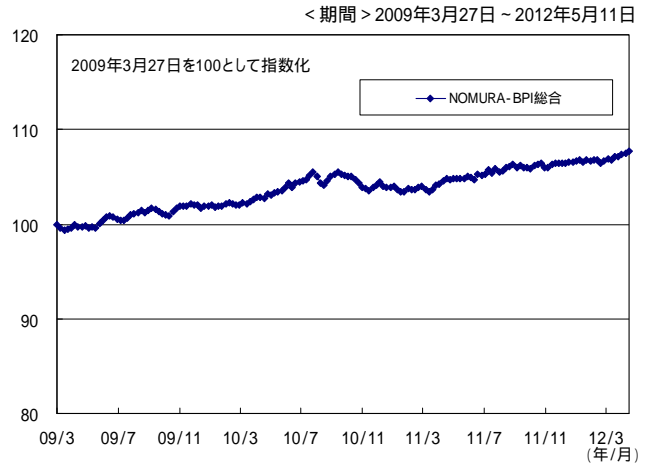
	2012/5/2	2012/5/11	変化幅
日本10年国債利回り	0.89%	0.85%	-0.04%

ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

騰落率がプラスの場合: 😊
 騰落率がマイナスの場合: 😞
 騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場環境
0.23%	😊



NOMURA-BPI総合	2012/5/2	2012/5/11	騰落率
	340.10	340.89	0.23%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

NOMURA-BPI総合は、野村証券株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村証券株式会社に帰属しております。また、野村証券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

世界の債券市場

市場の動向

世界債券市場の動きを示す代表的な指数であるシティグループ世界国債インデックスは、4日比円ベースで、0.44%下落しました。
 米国債券市場(現地通貨ベース)は、米大手銀行で多額の取引損失が見込まれたことや欧州信用不安の再燃などを背景に債券利回りは低下(価格は上昇)しました。
 欧州債券市場(現地通貨ベース)では、総選挙後のギリシャで政権樹立協議が難航したことやスペインの銀行の不動産融資に対する引当金が引き上げられたことなどをを受けて、ドイツ国債利回りは低下しました。
 為替は、4日比で円/ドルレートは横ばい、円/ユーロレートは円高・ユーロ安となりました。

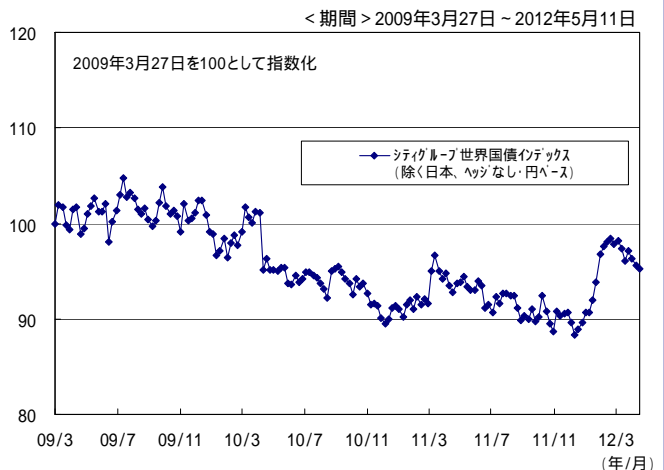
今後発表予定の主な経済指標など

- 15日発表 米CPI(4月)
- 15日発表 米ニューヨーク連銀製造業景気指数(5月)
- 15日発表 米小売売上高(4月)
- 15日発表 ドイツZEW景況感指数(5月)
- 15日発表 ユーロ圏GDP(1-3月期)
- 16日発表 FOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨 など

	2012/5/4	2012/5/11	変化幅
米国10年国債利回り	1.88%	1.84%	-0.04%
ドイツ10年国債利回り	1.58%	1.52%	-0.07%

騰落率がプラスの場合: 😊
 騰落率がマイナスの場合: 😞
 騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場環境
-0.44%	😞



シティグループ世界国債インデックス (除く日本、香港、円ベース)	2012/5/4	2012/5/11	騰落率
	297.29	295.99	-0.44%
円/ドル	79.88円	79.88円	0.00%
円/ユーロ	104.75円	103.40円	-1.29%

<指数出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

<為替出所>当該日ロンドン時間16時発表のWWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成
 シティグループ世界国債インデックスは、Citigroup Global Markets Inc.が開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Global Markets Inc.に帰属します。

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
 ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

・下記でを使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。 ・REITとは、不動産投資信託証券を指します。

J-REIT市場

市場の動向

J-REIT市場(東証REIT指数(配当込み))は、2日比で3.80%下落しました。国内株式市場が下落したことが背景にあります。

三鬼商事が発表した4月末時点の東京都心5区の平均空室率は9.23%となり、前月末の9.04%から0.19ポイント上昇しました。4月は統合や借り換えなどの成約の動きが出ていたものの、大規模ビル2棟を含む新規供給があり、空室面積が増加しました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 14日発表 国内企業物価指数(4月)
- 17日発表 GDP(1-3月期、1次速報値)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率

-3.80%

先週の相場環境



東証REIT指数(配当込み)	2012/5/2	2012/5/11	騰落率
	1,504.62	1,447.47	-3.80%

<出所> ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

東証REIT指数の指数値及び東証REIT指数の高標は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます。)の知的財産であり、東証REIT指数の算出、指数値の公表、利用など東証REIT指数に関するすべての権利及び東証REIT指数の高標に関するすべての権利は東証が有します。

世界のREIT市場

市場の動向

世界REIT市場(S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み))は、4日比円ベースで、0.23%上昇しました。

米国REIT市場(現地通貨ベース)は、5月の米ミシガン大学消費者信頼感指数が市場予想を上回る上昇となったことや、賃貸住宅REITの2012年1-3月期決算が好調だったことなどから上昇しました。

欧州REIT市場(現地通貨ベース)は、ドイツ首相が、当選したフランスの次期大統領を歓迎すると表明し、債務危機に協調して取り組む意向を明らかにしたことなどが背景となり上昇しました。

豪州REIT市場(現地通貨ベース)は、豪州株式市場が下落したことを受けて下落しました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 15日発表 米CPI(4月)
- 15日発表 米ニューヨーク連銀製造業景気指数(5月)
- 15日発表 米小売売上高(4月)
- 15日発表 ドイツZEW景況感指数(5月)
- 15日発表 ユーロ圏GDP(1-3月期)
- 16日発表 FOMC議事要旨

など

騰落率がプラスの場合: 😊

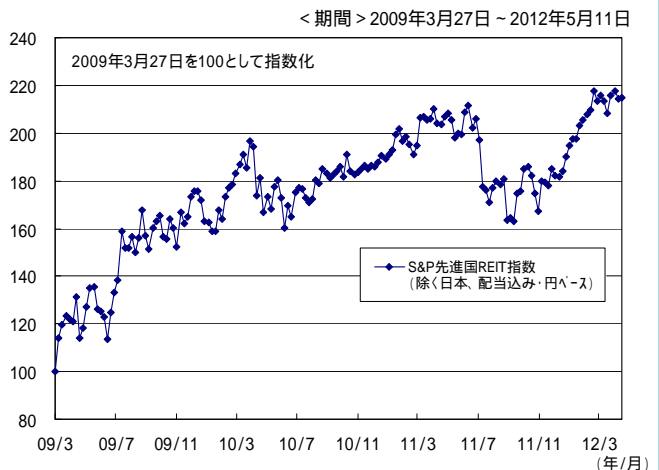
騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率

0.23%

先週の相場環境



S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み・円ベース)	2012/5/4	2012/5/11	騰落率
	430.30	431.28	0.23%
円/ドル	79.88円	79.88円	0.00%
円/ユーロ	104.75円	103.40円	-1.29%

<指数出所> スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)からのデータを基に

野村アセットマネジメント作成

<為替出所> 当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に

野村アセットマネジメント作成

S&P先進国REIT指数はスタンダード・アンド・プアーズファイナンシャル・サービシズエル・エルシーの所有する登録商標です。

・下記でを使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

新興国の株式市場

市場の動向

新興国株式市場全体の動きを表す代表的な指数であるMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、4日比円ベースで、4.11%下落しました。

中国株式市場(現地通貨ベース)は、中国の宅地販売急減の報道や、市場予想を下回る経済指標、欧州債務懸念の高まりなどを受けて下落しました。

ロシア株式市場(現地通貨ベース)は、欧州債務危機懸念や原油価格下落などを受けて下落しました。

ブラジル株式市場(現地通貨ベース)は、市場予想を下回る中国の経済指標などを背景に商品市況が下落したこと、国内のインフレ懸念などを受けて下落しました。

南アフリカ株式市場(現地通貨ベース)は、欧州債務危機懸念などから金などの商品市況が下落したことを受けて下落しました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 16日発表 南アフリカ小売売上高(3月)
- 17日発表 ブラジル小売売上高(3月)
- 17-18日発表 ロシア鉱工業生産(4月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

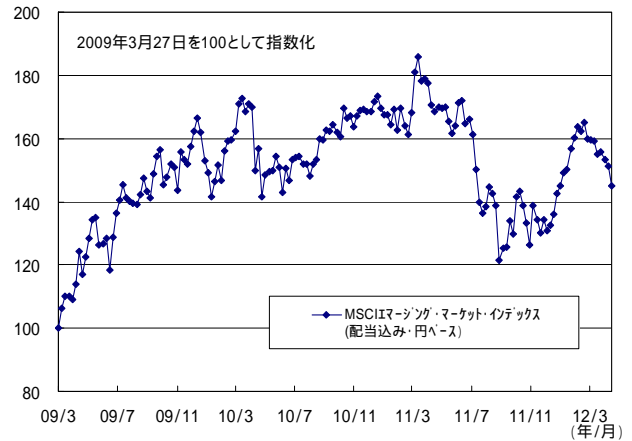
先週の騰落率

-4.11%

先週の相場環境



< 期間 > 2009年3月27日～2012年5月11日



MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース)	2012/5/4	2012/5/11	騰落率
	1,236.86	1,186.01	-4.11%

< 出所 > Factsetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

新興国の債券市場

市場の動向

新興国債券市場全体の動きを示す代表的な指数であるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドは、4日比円ベースで、1.98%下落しました。

ブラジルでは、4月のインフレ率が市場予想より高い水準となりました。同国では金融緩和が継続されていることや、足元の自国通貨下落が物価上昇を招くと懸念されていることなどから、同国債券指数は下落しました。

ポーランドでは、金融政策決定会合において、市場予想に反して利上げが決定され、政策金利は4.75%となりました。このような投資環境を受けて、同国債券指数は下落しました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 15日発表 ハンガリーGDP(1-3月期)
- 15日発表 ポーランドCPI(4月)
- 17日発表 メキシコGDP(1-3月期)
- 17日発表 ブラジル小売売上高(3月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

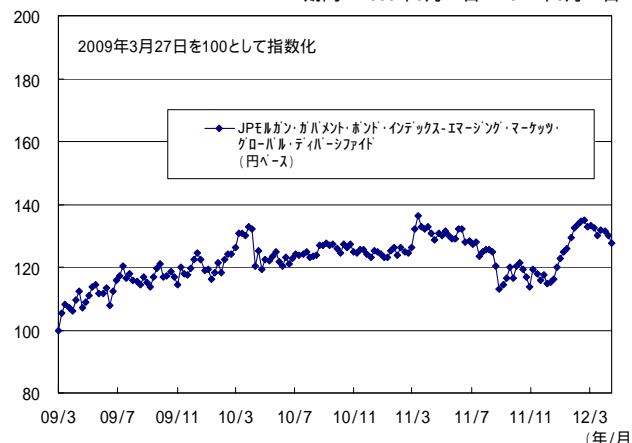
先週の騰落率

-1.98%

先週の相場環境



< 期間 > 2009年3月27日～2012年5月11日



JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)	2012/5/4	2012/5/11	騰落率
	200.71	196.73	-1.98%

< 出所 > ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(JP Morgan Government Bond Index-Emerging Markets Global Diversified)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

投資信託に係る費用について

2012年5月現在

ご購入時手数料 (上限4.2%(税込み))	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用(信託報酬) (上限2.121%(税込み))	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 (上限0.5%)	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

(ご注意) 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

商号:野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会:社団法人投資信託協会 / 社団法人日本証券投資顧問業協会